

にっぽん・食の哲学塾2015

豊

結びあう、米づくり  
鳴子の米



# プロジェクト10年 感謝祭

2006年春に、鳴子の米プロジェクトがスタートして10年。決して楽ではない道のりでしたが、ゆきむすびは多くの人の応援をいただき、いまでは発送のころには完売するまでになりました。結びあうことで、地域は米づくりを継続することができます。ありがとうございますの気持ちで10年の歩みを振り返り、つながりが生む農業の可能性を探りたいと思います。



## 食の哲学塾 Part.1

### 鬼首に暮らし、米づくりを続ける心とは

標高400メートルの鬼首では、さまざまな生業を組み合わせ暮らしを営んできました。自然を生かした多彩な暮らしの中で、米づくりはどのように位置づけられてきたのでしょうか。その苦労とよこびを、地元の人に聞きます。

お話／高橋正幸 高橋繁俊 後藤錦信ほか 地元農家・数名  
聞き手／西大立目祥子

西大立目祥子／フリーライター。鳴子の米プロジェクト理事。鳴子温泉郷観光協会発行の「素ローカルなるこ」の取材などとおして、地元の人々や生活文化に深い共感と関心を抱いてきた。

## 食の哲学塾 Part.2

### 私たちは鳴子の米プロの活動に未来を見る

鳴子の米プロジェクトには当初から多くの若者が関心を寄せました。若者たちはそこにどんな可能性を見出していたのでしょうか。鳴子の人々との交流の中で学び、いまは食産業、行政、大学、農家の仕事を担う彼ら、彼女らの本音に迫ります。

お話／鳴子の米プロジェクトにかかわってきた20代、30代・数名  
聞き手／結城登美雄

結城登美雄／民俗研究家。鳴子の米プロジェクト総合プロデューサー。東北を中心に全国各地を歩き、地域資源を活かした足元から始める地域づくりを提唱。著書に「地元学からの出発」(農文協)など多数。

● 2015年11月14日(土): 食の哲学塾 / 14時～16時30分 交流会 / 17時～19時30分

● 会場: リゾートパークオニコウベゴルフクラブ (大崎市鳴子温泉鬼首字禿岳15-1)

参加費: ①食の哲学塾のみ (資料代) 1,000円 | ②食の哲学塾+交流会 (飲食+記念品代) 5,000円 | ③食の哲学塾+交流会+宿泊 (ホテルオニコウベ) (飲食+記念品+宿泊代) 15,000円

◆お申し込みは、ファクスまたはメールで(詳しくは、裏面をご覧ください)

主催/特定非営利活動法人 鳴子の米プロジェクト 〒989-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字馬場3-3

▶ TEL 0229-29-9436 ▶ FAX 0229-29-9437 ▶ Eメール: komepro181@yahoo.co.jp